

給水配水一体化ご採用事例

神奈川県企業庁



狭く急な坂道・階段での施工



狭い参道の階段を開削し夜間にスピーディ施工



EFプラグ付サドルの施工(給水配水一体化)



【インタビュー】

酒匂川水系ダム管理事務所
副技幹
(元厚木水道営業所 工務課)
椎名 勇人

神奈川県企業庁は、神奈川県が経営する地方公営企業です。「水道事業」を含めた5つの事業を民間の会社と同じように「独立採算」で経営しています。神奈川県企業庁の県営水道は、神奈川県民の31%を占める約285万人に給水をしている水道事業体です。

厚木水道営業所の給水区域「伊勢原市大山地区」では、大山阿夫利神社へ伸びる参道において、エスロハイパーJW・AWが限定採用(2020年～2023年度)されています。大山地区は、狭く急な階段や坂道に配管しなくてはいけないという現場条件に加え、参道には店舗も多く、施工時間の制限もあり、铸铁管などの金属管では施工困難でした。そこで、軽量で耐震管に区分されており、近隣事業体でも本採用されている「水道配水用ポリエチレン管」を候補に入れて検討した結果、当地区において限定採用しました。

厚木水道営業所と本庁との管種選定協議の中、「水道配水用ポリエチレン管で検討をするなら、サドルから給水管も融着で検討しては？」となり、給水管と配水管を融着で一体化でき、100年の長期寿命が期待されている材料である事から、同時に限定採用しています。

限定とはいえ「採用」ですので特記仕様書を作成、給水管は外径の違いについて検討し、実績が最も多くかつ給水装置工事技術指針2020に掲載されているという理由で、JIS外径寸法のPWA規格(SDR11)を選定しています。

神奈川県企業局において、配水用・給水用ポリエチレン管は主たる仕様ではありませんが、今回の大山地区のように営業所より事案検討が上がってきた場合には、本特記仕様の内容をベースに限定採用の検討をするとともに、アセットマネジメントの取組の中で最適な配水管更新の材料を今後も検討してまいります。

神奈川県企業庁 企業局 水道部 水道施設課 配水グループ